

山鼻中学校だより



札幌市立山鼻中学校
学校だより
令和6年度
3月14日(金)発行
第9号

学校ホームページ



QRコード

卒業生へ贈る言葉 ～第34回卒業証書授与式 学校長式辞より～

一日目の雨模様が嘘のように、新緑の中尊寺金色堂、そして猊鼻溪には抜けるような青空が広がっていた。旅の気分は最高潮に達し、君たちのはじけるような笑顔が輝く。どこへ行っても、君たちの行動はスムーズでとっても早いのだ。はやる心を抑えつつ、時間を気にしながら、仲間どうし声を掛け合う。タイムテーブルが予定より少しずつ早まってゆく。「時間のゆとりは心のゆとり」。なごやかで、ゆるやかで、あたたかな時が流れた。

私は常々、君たちは大勢の人から愛され、その愛に応えようと、心を磨き続けた素敵な学年集団であった、そう思っています。思春期ど真ん中の君たちは、時に人間関係に悩み、揺れ動く心と葛藤したこともあったはず。進むべき道に迷い、逃げ出したくなった時、君たちを信じて、そばに寄り添い、温かくそして厳しく支えてくれた人たちのことを思い浮かべてほしい。

君たちは、それぞれ形の違うオンリーワンの個性の塊。この三年間、ぶつかり合って、許し合って、お互いを磨き合ってきました。その経験の一つ一つが、立派な君たちの「今」を作り上げています。どうか忘れないでください。

これから君たちが切り拓くミライには、はてしない夢や希望が満ち溢れています。一方で、孤独で苦しい時間を耐え続けなくてはならない場面に出くわすこともあるかもしれません。そんな時は、この経験を通してまた一つ、私という人間がピカピカに磨かれていくのだとポジティブに受け止め、勇気をもって、歩を進めていってほしいと願っています。

御来場の保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、まことにおめでとうございます。

この三年間、本校の教育活動に深いご理解とお力添えをいただきましたこと、教職員を代表いたしまして深く感謝申し上げます。これまでの子育てのご苦勞に心より敬意を表しますとともに、このような立派な姿で、卒業式に臨む子供たちの成長ぶりを、一緒に喜び合いたいと思っております。

また本日は、久保田康生PTA会長様をはじめ役員の皆様、山鼻南小学校・小田校長先生をはじめ諸先生方、学校運営協議会委員の皆様、町内会、関係機関など地域の皆様のご臨席を賜り、第三十四回卒業証書授与式を挙げてきましたこと、心より御礼申し上げます。

どうかこれからも、子どもたちの行く末を温かく見守ってくださいますよう、お願い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん

「セカオワ」の愛称で大人気のロックバンド SEKAI NO OWARI の作品に「サザンカ」という曲があります。ここで、大好きなサビの部分の歌詞を君たちに贈ります。

「夢を追う君へ 思い出して つまづいたなら
いつだって物語の主人公は笑われる方だ 人を笑う方じゃない」
「夢を追う君へ 思い出して くじけそうなら
いつだって物語の主人公が立ち上がる限り 物語は続くんだ」

なんとも勇気が湧いてくる歌詞です。一度や二度つまづいたって、自分を信じて立ち上がる限り、必ず道は開ける、君たちの物語は続いていくのです。そんな前向きなメッセージとともに、努力する人を笑う人間には絶対にならないという強い決意が伝わってきます。

結びになりますが、今、ここから見える君たちはピカピカに輝いていて、うらやましく見えます。君たちはまだ、欲しいもの全てを持ってはいないけれど、私からは何でも持っているかのように見えています。それが「若さのパワー」、まだ何色にも染まっていない「ピュアなエネルギー」というものなのだと思います。

さあ、そのパワーとエネルギーをひっさげて、気持ちは大きく、それぞれのミライに向かって羽ばたいてください。君たちの人生に幸多からんことを心から願い、私からの式辞といたします。

令和7年3月14日

札幌市立山鼻中学校 校長

卒業生代表の言葉（「第34回卒業証書授与式答辞」より抜粋）



野山の雪も溶け始め、春の訪れを感じる季節となりました。本日は私たち卒業生のために心温まる式を挙げていただき、ありがとうございます。また先生方をはじめ、保護者の皆様にもご臨席賜り、卒業生67名を代表して、厚く御礼申し上げます。

期待と不安を抱きながらこの山鼻中学校に入学した日から3年の月日が経ちました。私達はこの3年間様々なことに挑戦してきました。仲間とともに切磋琢磨し過ごした3年間はとても有意義なものであったと思います。

私は特に部活と生徒会活動に挑戦してきました。部活動では、二日目進出を目指して仲間たちと練習を重ねてきました。はじめの頃はパスが上手くキャッチできないなど迷惑をかけてしまいました。だから家ではボールに触れる時間を増やしてボールの感触を体が覚えるようにしたり、仲間たちと児童館へ行ったりもしました。最後の中体連、結果としては、初戦敗退という悔しい結果となってしまいましたが、仲間たちと切磋琢磨してきたことは良い経験になったと思います。

生徒会活動では、生徒会会長として、生徒会や学校全体をより良いものにしようとしてきました。初めのころは自分の考えを理解してもらえなかったり、思いどおりにならなかったりしてしまうことが多々ありました。しかしどうすれば自分の考えを理解してもらえるか考えたり、事前準備を徹底したりして改善することができました。文化祭のときには、幕間の時間が予想以上に多かったりなどのアクシデントもありながらも仲間たちと日々練習してきたおかげで乗り越えました。

このようにたくさんのことに挑戦できたのは、沢山の人のおかげであると思います。

これまでわたしたちは多くの迷惑をかけてきたと思います。そんなわたしたちでも最後まで、ときには優しく、ときには厳しく接してくれた先生方、職員の皆様、今までありがとうございました。おかげで私たちは大人の階段を登り、人間として成長することができたと思います。

そして両親へ。今まで育ててくれてありがとうございます。両親へは感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしく願います。

在校生の皆さんへ、2年生は3年生になると最後の中体連、文化祭、そして高校入試に向けて考え、努力することとなります。辛いこともあると思いますが楽しんで行ってほしいと思います。1年生はまだまだ中学校生活が続きます。部活も行事も全部楽しんでほしいと思います。

最後に3年間ともに山鼻中学校で過ごしたみんなへ、今までありがとう。受験でうまくいかなかったとき慰めてくれたみんな。文化祭をうまくやりきったときに褒めてくれたみんな。山鼻中学校に入学し、このメンバーと出会えて、良かった。これからはそれぞれ別の道を歩むこととなるでしょう。その時は自分の可能性を信じて、焦らず自分のペースで未来へ突き進んで行こう。

最後になりましたがこれまで私達を支えてくださったすべての方々に御礼を申し上げるとともに、山鼻中学校のさらなる発展を願ひ、答辞とさせていただきます。

人々には別れがつきものです。本日をもってほとんどの先輩方が友達との別れを迎えることでしょう。しかし、別れは成長や新たな出会いにつながるものであると考えています。これからも出会いや別れの繰り返しで成長しつづけてください。

最後になりましたが、卒業生の皆さんのこれからの活躍とご健康を在校生一同、心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

在校生代表（「第34回卒業証書授与式送辞」より抜粋）

17日(月) 公立高校合格発表

19日(水) 防犯避難訓練

20日(木) 春分の日

24日(月) 美化推進活動(4校時)

25日(火) 修了式・離任式・報告会・表彰

※登校時間 8:30~8:40

